

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

茨田小	学校	児童数	60
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.32	19.18	30.34	43.42	43.61	9.08	138.29	20.95	52.24
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.95	19.73	34.45	38.64	35.36	9.57	127.14	12.23	52.05
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

体力合計点は、男女ともに全国平均を下回ったが、男子は大阪市平均を上回る結果となった。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な意見が男子は94.7%で全国・大阪市平均よりも高いが、女子は72.7%で、大阪市平均より10%以上低い。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が、男子は11.2%で大阪市平均とほぼ変わらないが、女子は35%で大阪市平均より15%近くも多い。運動やスポーツをする楽しさを感じ、週当たりに運動する時間もある程度多く取れている男子は、大阪市平均を上回り、全国平均にも迫る結果となった。一方女子は、運動やスポーツをする楽しさを感じることができていない児童の割合が多いことや、週当たりに運動する時間が純粋に少ない児童が多いことが、結果に影響していると考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

学期ごとに運動週間（スポーツフェスティバル・なわとび週間・Runラン週間）として、運動する習慣をつけるための取り組みをしてきた。その効果は近年の数値から、成果として表われてきている。課題であった20mシャトルランは、まだまだ全国平均に及んでいないものの、女子は大阪市平均を上回る結果となり、男女共に上昇傾向にある。今後も継続して運動する習慣をつけるための取り組みをしつつ、遊びの中で運動する楽しさを感じることができるような、新しい取り組みも考えていきたい。また、体育の授業でも、運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、授業改善に取り組んでいきたい。